

寝具製作 ▶ 座布団

「寝具製作」における綿の扱い、側入れと角出し、房をつける角閉じなどは、掛布団・敷布団・枕などすべての基本となる仕事です。



対象者

小学校4年生
~中学生

所要時間

講義 30分
体験 120分

材料リスト

- 座布団用インド綿 250g
- 縫製済み座布団の布 綿サテン地 40cm×37cm
- トジ糸 キュプラ製糸 2.5m

参加者
数分

使用工具リスト

- 縫い針 めんえりしめ
- ふとん針 おおづなし
- ハサミ 糸切りハサミ

参加者
数分

講義

寝具製作の内容と布団の材料について（栽培した綿などの実物を手にして）。仕事を選んだ理由、仕事の喜び・やりがい・大変なこと、取り組む気持ちなど。仕事につくために必要なこと。

体験した児童・生徒の感想

- 使う人のことを考えて作ることが楽しかったです。
- たくさんの工程で1つのものができていることに驚きました。
- マイスターさんの話がとても興味深く、休み時間も夢中になって作りました。



担当教員の感想・要望など

- 体験を通して、ものづくりに携わることに関心を抱いてほしいとの思いがあり、実施しました。技を磨くために修業を重ねたマイスターさんのお話はもちろん、技術指導に大変感銘を受けました。



作業工程の概要

下準備

- 座布団の布は縫ってアイロンをかけておきます。
- 中入れ綿は1人当たり250gを量っておきます。



加工・作業

- 作業工程の図を見せて手順を理解させます。
- 講師が手本を見せて手順を覚えてもらいます。
- 布の上に綿を積み重ねていき、布と同じ大きさに形を作ります。
- 布の中に綿を入れ4つの角に綿を丁寧に入れます。

仕上げ

- 縫い針を使って綿入れ口を縫い合わせます。
- 座布団の形を整えます。
- トジ針を使って、座布団の中心と4つの角にトジ糸で飾り房をつけます。



学校側との事前調整事項等

- 綿を広げる十分なスペースの確保として、家庭科室等で行い、1つの裁断機を2人で互い違いに座ります。
- 綿がついてもいいように体操服に着替えさせます。バンダナ・マスクの着用が望ましいです。

安全作業上の注意事項

- 針は紛失しないように、針は1本ずつ番号の付いた布から取り、使った後は元の番号に戻すように注意をしました。
- 針やハサミで怪我をしないように気をつけるように指示をしました。

指導者からのアドバイスなど

- ものづくりは最初から上手にはできませんが、根気よく講師の指導を理解してでき上がるまでやり通すことで達成感が得られるので、学校生活でも今日の体験を活かして下さい。
- 生徒の皆さんが元気よく座布団作りに取り組む姿勢をみて、講師も感心しました。
- 生徒のものづくりに真摯に取り組む姿勢をみて、所謂ベテランと呼ばれる私たちも時にはもう一度初心に返らねばと思う点がありました。

協力

- 愛知県技能振興コーナー (052-524-2075)
- 丹羽 正行 (ものづくりマイスター：寝具製作)
- 山口 清子 (ものづくりマイスター：寝具製作)
- 名古屋市立伊勢山中学校 ●愛知県わた寝具工業組合
- 愛知県製綿寝装品製造協同組合 ●愛知県寝具技能士会